

王禅寺 川崎市麻生区王禅寺 940

王禅寺（おうぜんじ）は、川崎市麻生区にある真言宗豊山派の寺院で、延喜 21 年（921 年）に高野山三世無空上人が開山し「関東の高野山」と呼ばれていた。星宿山蓮華蔵院王禅寺と号し寺院付近一帯の地名「王禅寺」にもなっている。

寺紋は三つ葉葵で徳川幕府の歴代の将軍（徳川家康を始めとし、後の 13 人の将軍）の位牌を奉り、将軍家より葵の御紋の使用を与えられた。

周囲には大きな樹木が茂り、この地を愛した北原白秋の歌碑があり、前庭には、樹齢 450 年と伝えられる禅寺丸柿の原木が残っている。これは、「柿生」という地名・駅名の由来となったといわれている。



王禅寺本殿

三つ葉葵  
御紋



禅寺丸柿の碑



柿を持っている弾寺丸



薬師如来堂



観世音菩薩堂